

第17回九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議 議長総括

- わが国として2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことが昨年10月に宣言されたことを受けて、関連施策・取組事例に係る情報提供を今回の推進会議の主題とした。それらの共有をもとに、構成員がそれぞれの組織・機関で今年度及び次年度に、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、エネルギー及び温暖化対策を進めるにあたり、下記を九州地域の共通する取組として合意する。

記

九州におけるエネルギー及び温暖化対策推進に向けた今後の取組

1. 2050年脱炭素社会を志向した、二酸化炭素排出削減の計画的な取組
 - ・ 「COOL CHOICE」活動の更なる推進
 - ・ 省エネルギーと再生可能エネルギーの融合を図った取組の推進
 - ・ 地域資源とみなされる再生可能エネルギーの積極的な活用
2. ライフスタイルの転換に向けた取組
 - ・ 共創、連携をキーワードとした取組の展開
 - ・ エネルギー需要高度化を図る取組の推進
 - ・ 脱炭素社会に向けての、住民との情報共有

以上